

## 「モリコンクF100」 - 住鋳潤滑剤㈱

1. 工業用ギヤオイルの有機モリブデン配合添加剤
2. ベルコンの減速機：電流値が下がった（大手ゼネコン）
3. 古い工作機械の歯車：新品のようになった（T製作所）
4. 高粘度用のF320, F460もラインナップ
5. 荷姿：1L、4L、18L缶、200LD/M



### 「久慈浜物語」2

寿司店の裏側は、二階建てにな  
つていて宴会などが出来るよう  
になっていった。

部屋からは、密集する家の隙間  
からわずかに海が見えた。今頃の  
季節になると、港町には南風に乘  
って潮の香りが届けられる。

母の実家に帰ると、いつもこの  
涼しげな部屋がわたしたち親子  
にあてがわれた。階下からおじい  
ちゃんと呼ぶ声が聞こえた。

『ターボ、さあハゼ釣りに行く  
ぞ。お前も竿を持ってなあ』

『はい』

久慈浜は、当時海と陸の間に横  
川が流れ、海水と淡水の入り交じ  
ったところには、ボラやハゼそれ  
にシジミ等もたくさん生息して  
いた。

釣り場までは、黒い板塀に挟ま  
れた狭い路地を歩いていった。浜  
風で運ばれる塩害に備えるため、  
何処の家でも防腐蚀剤としてコー  
ルタールが塗られていた。

海のある町には、昭和の末まで

潮とコールタールが混ざった一  
種独特の匂いが漂っていた。

おじいちゃんに、餌のゴカイを  
付けてもらって川に投げると、子  
供のわたしでもおもしろいよう  
に釣れた。

『お母ちゃんに見せてやれ、びっ  
くりするぞあ』

『うん』

帰り道、わたしの手を引き目  
線を下げて話してくれる。

実家に戻ると、早速母がブリキ  
のバケツをのぞいた。

『うわあ、いっぱい釣れたねえ。』

『タダヨシも釣ったの』

『うん、おじいちゃんに餌付けて  
もらったんだよ』

わたしは得意になって話した。

次の日、おじいちゃんは

『ターボ、食べてもららん』と言っ  
て、小皿とスプーンを渡した。

小皿に乗った丸いシャープベッ  
トを口に入れると、冷たく甘い香  
りが口の中いっぱい広がった。

『おいしいだろ。この町じゃじい  
ちゃんが初めてやるんだよ』

## あとがき



久しぶりに、深和工業(有)さんを訪ねた。営業の新妻から「社長さんに、ドライコートを買っていただきました」と、報告を受けたからである。この地域で、細穴加工の分野でこの人の腕に勝る人はいない。

「この加工が一番難しいのは、一瞬のカジリなんだ。これを使ってから安心して仕事ができるよ」と言ったあの優しい目は、いまでも変わらない。